



タッチUIにおけるジェスチャー操作名称一覧

List of gesture operation terms on touch User Interface

JBMIA-TR-30 : 2019

(2020 確認)

令和元年 10 月改正

(October, 2019)

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

Japan Business Machine and Information System Industries Association

標準化センター

ユーザーインターフェイスデザインプロジェクト

2019年度ユーザーインターフェイスデザインプロジェクト委員構成表

| | | |
|----------|--------|--------------------------|
| (リーダー) | 瀬戸 秀基 | シャープ株式会社 |
| (サブリーダー) | 南原 二郎 | コニカミノルタ株式会社 |
| (委員) | 木津 高平 | キヤノン株式会社 |
| | 鈴木 裕児 | 株式会社リコー |
| | 平野 靖洋 | 富士ゼロックス株式会社 |
| | 松本 滋 | ブラザー工業株式会社 |
| | 山口 麻日奈 | 東芝テック株式会社 |
| (事務局) | 鈴木 正敏 | 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 |

TR番号：JBMIA-TR-30

制 定：平成27年10月31日

改 正：令和元年10月2日

原案作成：標準化センター／ユーザーインターフェイスデザインプロジェクト（ステアリングチーム）

タッチUIにおけるジェスチャー操作名称一覧

List of gesture operation terms on touch User Interface

1 活動の目的

昨今のスマートフォンやモバイル機器の普及の中で、複合機の操作パネルにおいてもタッチパネルだけで操作を行う機種が主流となってきた。

また、操作の対象は従来のハードキーから画面の中のアイコンやオブジェクトに移行し、操作方法も単に押すだけの操作からスマートフォン並みのジェスチャー操作を取り入れた製品も増えてきた。

このような状況の中、タッチジェスチャー操作の名称や使用場面に関して、各社で用いられている名称を比較し、スマートフォンOSの情報も付加することで、使われ方の相違等を認識できる一覧表を作成した。

この一覧表を俯瞰することで見えてくる、業界レベルでの課題抽出にも役立つことを期待している。

2 用語及び定義

2.1 タッチジェスチャー操作

操作画面上で1本あるいは複数本の指を用いて操作すること。

3 タッチジェスチャー操作名称の一覧表

3.1 調査方法

このTRは主にオフィス用複合機の画面操作部で用いられているタッチジェスチャー操作名称及び、その使用場面に関して、参加各社の委員が自社複合機の取扱説明書を調査し、スマートフォンのUIガイドラインから抜粋した操作名称を付け加えて、2019年度にまとめた。

調査対象として各社の参考機種は次による（表1参照）

| | |
|---------|--|
| キヤノン | imageRUNNER Advance C5560F II, Satera MF 726Cdw/722Cdw |
| リコー | MP C6004/C5504/C4504/C3504 |
| コニカミノルタ | bizhub C754e/C654e |
| 富士ゼロックス | ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571 |
| ブラザー | MFC-L8610CDW/MFC-L9570CDW |
| シャープ | MX-5170FV/MX-4170FV/MX-3650FV |
| 東芝テック | e-STUDIO 2505AC/3505AC/4505AC/5005AC |

3.2 表構成及び調査結果のまとめ

一覧表は次の項目で構成されている。

- ・メーカー名（横列）
- ・タッチジェスチャー操作のイメージイラストと説明
- ・操作名称（上段）及び使用場面（下段）
- ・参考機種

調査結果をまとめた一覧表を表1として次頁に示す(旧版は3頁参照)。

表1 各社のタッチジェスチャー操作方法とその名称 一覧表

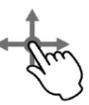
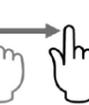
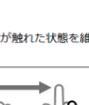
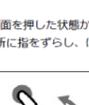
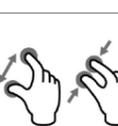
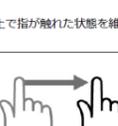
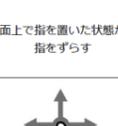
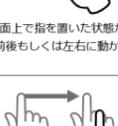
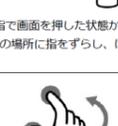
| 操作/メーカー名 | キヤノン | リコー | コニカミノルタ | 富士ゼロックス | ブラザー工業 | シャープ | 東芝テック | Android | iOS |
|---|--|---|--|---|---|---|--|--|---|
| 1  画面を指で軽くタッチする | タップ (tap) 項目の選択や実行に使用する。 | タップ 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | タップ 画面上のメニューを選んだり、確定する場合に使用する。 | タップ 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | 押す 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | タップ 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | 押す (タップ) 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | Tap Users can navigate to destinations by touching elements. | Tap Activates a control or selects an item. |
| 2  画面を指で軽く2回連続でタッチする | | ダブルタップ プレビュー時に拡大表示する場合に使用する。 (「+」「-」キーはあるので裏モード) | ダブルタップ 詳細情報の呼出しや、サムネイル画像、プレビュー画像の拡大、ボックスを開く場合に使用する。 | ダブルタップ プレビュー時に拡大表示する場合に使用する。 | | ダブルタップ プレビュー時に使用する。 | <名称なし> プレビュー時に拡大表示の後、縮小する場合に使用する。 | Double tap Double taps allow users to zoom into content, or toggle between zoom levels | Double tap Zooms in and centers content or an image, or zooms out if already zoomed in. |
| 3  画面上で指を滑らせ、軽くはらう | フリック (flick) スクロールさせる場合に使用する。ページを移動させる場合に使用する。(画面による) | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。 リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック 宛先、ジョブリストのスクロール、トップメニュー画面やプレビュー画面のページ送りなどに使用する。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。 リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。 リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。 リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | スワイプ (swipe) ホーム画面でのページを送り、リスト画面でのスクロールに使用する。 | Swipe Users can move surfaces horizontally to navigate between peers, like tabs. Users can slide elements to complete actions upon passing a threshold. | Flick Scrolls or pans quickly. |
| 4  画面上で指を置いた状態から前後もしくは左右に動かす | | スワイプ 1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使用する。 | パン (pan) 1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使用する。 | | | スライド (slide) リスト画面やプレビュー画面で使用する。 | | Scroll and pan Users can slide surfaces vertically, horizontally, or omnidirectionally to move continuously through content. | |
| 5  画面上で指を置いた状態から横方向もしくは縦方向に指をずらす | ドラッグ (drag) 表示項目を移動させる場合に使用する。要素が指を動かした方へ移動する。 | ドラッグ アイコンなどを移動する場合に使用する。 | ドラッグ ドキュメントを目的の場所へ移動させる場合に使用する。 | ドラッグ メニュー画面のページ切り替えや、リストのスクロールに使用する。 | | ドラッグ プレビュー時のページスクロールに使用する。 ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | | Drag Users can slide surfaces to bring them into and out of view. | Drag Moves an element from side-to-side or drags an element across the screen. |
| 6  2本指で画面に触れた状態から指を開いたり閉じたりする | ピンチイン/ピンチアウト (pinch in/pinch out) ・画面を拡大/縮小させたい場合に使用する。 ・プレビュー画像を拡大/縮小させたい場合に使用する。 | ピンチイン/ピンチアウト プレビュー画像の拡大/縮小させたい場合に使用する。 | ピンチイン/ピンチアウト プレビュー画像を拡大/縮小させたい場合に使用する。 ※表示ズーム機能設定を有効した場合 | | | ピンチイン/ピンチアウト プレビュー時の拡大縮小に使用する。 | ピンチ操作 (ピンチイン/ピンチアウト) プレビュー時の拡大縮小に使用する。 | Pinch Users can scale surfaces to navigate between screens. | Pinch Zooms in when pinching outward, zooms out when pinching inward. |
| 7  画面上で指が触れた状態を維持する | ロングタッチ (long touch) 1行で表示しきれない文がある時、押している間文字が順に表示される。また数値を連続して増減させるときに使用する。 | ロングタッチ 一定時間タッチを続けて壁紙変更等呼び出します。 | ロングタップ (long tap) ドキュメントに関するアイコンを表示するときにする。 | ロングタップ 機能リストの配置順の編集時に使用する。 | 長押しする 作成したショートカットボタンを編集する場合に使用する。 | ロングタッチ 一定時間タッチを続け、機能呼び出す。 | 押したままにする 拡大率を変更する際、10%づつ増減する時に使用する。 | Long press Enters data selection mode. Allows you to select one or more items in a view and act upon the data using a contextual action bar. Avoid using long press for showing contextual menus. | Touch and hold When performed in editable or selectable text, displays a magnified view for cursor positioning. When performed in certain views, such as a collection view, enters a mode that allows items to be rearranged. |
| 8  指で画面を押した状態から目的の場所に指をずらし、はなす | ドラッグ&ドロップ (drag&drop) カスタム画面ボタンの編集時に使用する。 | ドラッグして移動先で離す ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | ドラッグ&ドロップ ロングタップで選択したドキュメントの移動に使用する。 | ドラッグ&ドロップ メニュー画面ボタンの編集時に使用する。 | | ドラッグ&ドロップ ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | ドラッグ&ドロップ ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | | |
| 9  2本指で画面に触れた状態から指を回転させる | | | ローテーション (rotation) プレビュー画像を回転させたい場合に使用する。 | | | | | | |
| 参考機種/参考情報 | imageRUNNER Advance C5560F II Satara MF 726Cdw/722Cdw | MPC6004/C5504/C4504/C3504 | bizhub C754e/C654e | ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571 | MFC-L8610CDW/ MFC-L9570CDW | MX-5170FV/ MX-4170FV/MX-3650FV | e-STUDIO2505AC/ 3505AC/4505AC/5005AC | Material Design https://material.io/design/interaction/gestures.html#types-of-gestures | Human Interface Guidelines https://developer.apple.com/design/human-interface-guidelines/ios/user-interaction/gestures/ |

表1 各社のタッチジェスチャー操作方法とその名称 一覧表 (旧版 平成27年制定)

| 操作/メーカー名 | キヤノン | リコー | コニカミルタ | 富士ゼロックス | ブラザー工業 | シャープ | 東芝テック | Android | iOS | Windows |
|---|--|---|--|---|---|---|--|--|--|---|
| 1  画面を指で軽くタッチする | タップ (tap) 項目の選択や実行に使用する。 | 押す 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | タップ 画面上のメニューを選んだり、確定する場合に使用する。 | タップ 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | 押す 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | タップ 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | 押す 画面上のボタンを選択する場合に使用する。 | touch Triggers the default functionality for a given item. | タップ コントロールまたは項目を押す、または選択する (マウスのシングルクリックに相当)。 | タップ 軽くたたく |
| 2  画面を指で軽く2回連続でタッチする | | <名称なし> | ダブルタップ 詳細情報の呼出しや、サムネイル画像、プレビュー画像の拡大、ボックスを開く場合に使用する。 | ダブルタップ プレビュー時に拡大表示する場合に使用する。 | | ダブルタップ プレビュー時に使用する。 | | Double touch Scales up a standard amount around the target with each repeated gesture until reaching maximum scale. For nested views, scales up the smallest targetable view, or returns it to its original scale. Also used as a secondary | ダブルタップ コンテンツブロックまたは画像を拡大してセンタリングする。縮小する (すでに拡大されている場合)。 | ダブルタップ "軽くたたく" を 2 回 |
| 3  画面上で指を滑らせ、軽くはらう | フリック (flick) スクロールさせる場合に使用する。ページを移動させる場合に使用する。(画面による) | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック 宛先、ジョブリストのスクロール、トップメニュー画面やプレビュー画面のページ送りなどに使用します。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | フリック ホーム画面でページを切り替える場合に使用する。リスト画面で次のページに移動する場合に使用する。 | | Swipe or drag ※1 Scrolls overflowing content, or navigates between views in the same hierarchy. Swipes are quick and affect the screen even after the finger is picked up. Drags are slower and more precise, and the screen stops responding when the finger is picked up. | フリック (はじく) すばやくスクロールまたはパンする。 | フリック フリックとは簡単なジェスチャーであり、キーボードショートカットとほぼ同等です。 |
| 4  2本指で画面に触れた状態から指を開いたり閉じたりする | | ピンチイン/ピンチアウト プレビュー画面の拡大/縮小させたい場合に使用する。 | ピンチイン/ピンチアウト プレビュー画像を拡大/縮小させたい場合に使用する。 ※表示ズーム機能設定を有効した場合 | | | ピンチ/スプレッド プレビュー時の拡大縮小に使用する。 | | Pinch open / Pinch close Zooms into content. Zooms out of content. | ピンチ ピンチオープンして拡大する。ピンチクローズして縮小する。 | ズーム |
| 5  画面上で指が触れた状態を維持する | ロングタッチ (long touch) 1行で表示しきれない文がある時、押している間文字が順に表示される。また数値を連続して増減させるときに使用する。 | 長く押す ホーム画面のアイコンを移動する場合に使用する。対象アイコンを長く押すことで、一時的に移動できる状態となる。 | ロングタップ ドキュメントに関するアイコンを表示するときに使用する。 | <名称なし> | 2秒以上押す 作成したショートカットボタンを編集する場合に使用する。 | プレス ボタンや入力部の文字がすべて表示出来ない場合にツールチップを表示するために使用する。 | 押したままにする 拡大率を変更する際、10%づつ増減する時に使用する。 | Long press Enters data selection mode. Allows you to select one or more items in a view and act upon the data using a contextual action bar. Avoid using long press for showing contextual menus. | タッチアンドホールド 編集または選択可能なテキストで、カーソル位置で拡大されたビューを表示する。 | プレス アンド ホールド 押して一時停止し、上げる |
| 6  画面上で指を置いた状態から指をずらす | ドラッグ (drag) 表示項目を移動させる場合に使用する。要素が指を動かした方へ移動する。 | ドラッグ アイコンなどを移動する場合に使用する。 | ドラッグ ドキュメントを目的の場所へ移動させる場合に使用する。 | ドラッグ メニュー画面の編集時にアイコンの移動する場合に使用する。 | | ドラッグ プレビュー時のページスプルーに使用する。ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | | Swipe or drag ※1 Scrolls overflowing content, or navigates between views in the same hierarchy. Swipes are quick and affect the screen even after the finger is picked up. Drags are slower and more precise, and the screen stops responding when the finger is picked up. | ドラッグ スクロールまたはパンする (片方の端からもう片方の端への移動)。要素をドラッグする。 | ドラッグ 押して移動し、上げる |
| 7  画面上で指を置いた状態から前後もしくは左右に動かす | | スワイプ 1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使用する。 | パン 1画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使用する。 | | | スライド リスト画面やプレビュー画面で使用する。 | | | | パン |
| 8  指で画面を押した状態から目的の場所に指をずらし、はなす | | ドラッグして移動先で離す | ドラッグ&ドロップ | | | ドラッグ&ドロップ ホーム画面ボタンの編集時に使用する。 | | | | |
| 9  2本指で画面に触れた状態から指を回転させる | | | ローテーション プレビュー画像を回転させたい場合に使用する。 | | | | | | | 回転 |
| 参考機種/参考情報 | Satera MF-726/722 | MP C6003/C5503/C4503 C3503/C3003 シリーズ | bizhub C754e/C654e | ApeosPort-V C7780/C6680/C5580 | MFC-9340CDW | MX-2640FN/ MX-3140FN/MX-3640FN | e-STUDIO4555C/5055C | Android Developer https://developer.android.com/design/index.html ※1 スワイプとドラッグの操作が同じグループとして表記されている | iOSヒューマンインターフェース ガイドライン | Windowsデベロッパ http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/cc872774.aspx#gestures |

タッチUIにおけるジェスチャー操作名称一覧 解 説

1 制定の趣旨

近年複合機の操作パネルは画面を使ったソフトウェアキーが主体となっており、従来のように単に押すだけの操作だけでなく、スマートフォンに代表されるタッチジェスチャー操作を取り入れた製品が増えてきた。

このような状況の中、各社がどのような名称を使ってタッチジェスチャー操作を説明しているのかを俯瞰するために一覧表を作成した。

この表を、各社のデザイン部門又はユーザーインターフェイス設計部門、取扱説明書制作部門等が閲覧できることで、有効に活用できるのではないかと考えからTR化に至った。

2 活動の経緯

タッチジェスチャー操作の説明にあたり、一般的な呼称においても個人差があることをきっかけに、各社の操作名称を調査するに至った。

調査の対象となる操作名称については、今後のTR更新にあたり明確な指針で再調査できることを配慮し、社内における一般的な呼称ではなく取扱説明書から名称を抜粋している。

表の作成にあたり、操作名称だけでなくその使用場面も記載するなど、議論を重ねた上で表にすることでまとまった。

3 今回の改正のポイントと改正履歴

今回の改正は、2018年度にユーザーインターフェイスデザインプロジェクト／ステアリングチームの活動に参加している各社が、複合機の取扱説明書を調査し、まとめたものである。

初版が2015年度に制定されたが、時代の変化や技術進化によって、複合機のタッチジェスチャー操作も一般化される中で、操作名称がどのように変化しているのかを把握する必要があるとの判断で改正を実施した。

スマートフォンに代表されるタッチジェスチャー操作は様々な形で用いられており、一般的な操作認識が日々変化しているのが実状である。

変化し続けるタッチジェスチャー操作の継続的な調査は重要と考えており、今後も定期的な見直しを実施する。